



Title	Gallia 62号 あとがき/奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 2023, 62
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/91109
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

あ と が き

コロナ禍も発生以来およそ3年が経過し、世界はようやく平常に戻りつつあります。授業や学会・研究会は、対面を原則としてオンラインも取り入れる方式が一般的になりました。海外出張や海外からの研究者の来訪も活発になってきました。2022年12月には、4年ぶりに本会名誉会員のアニエス・ディソン先生を豊中キャンパスにお招きし、講演会を開催しました。

同年10月の日本フランス語フランス文学会秋季大会は、大阪大学を会場とし、対面にて大変盛況のうちに開催できました。懇親会の代わりに企画した飲食物提供なしの「歓談会」にも、百人を超える参加者がありました。初日は豊中キャンパスを、二日目は箕面新キャンパスを使用したために準備と後片付けの労力は二倍になりましたが、両キャンパスのフランス語・フランス文学教員と多くの学生諸君が一致協力して取り組んだことは、本会にとっても有意義な経験となりました。この場をお借りして、皆様に重ねて御礼申し上げます。

そして、2020年3月に予定していた和田章男・岩根久両教授退職記念講演会ならびに祝賀会を、3年遅れでやっと開催できる運びになりました（3月4日予定）。あらためて両先生のこれまでの研究・教育のご業績を称え、本会へのご貢献に感謝する機会としたいと存じます。

2022年4月をもって、本学大学院文学研究科と同言語文化研究科が統合し、「人文学研究科」が発足しましたが、同時に、栗原唯助教が新研究科外国学専攻に着任されました（専門はフランス語学、日仏対照言語学）。また、2023年4月には、人文学専攻フランス文学専門分野の現助教である平光文乃氏が、同専攻に准教授として着任し、引き続きフランス文学の研究・教育に尽力されます（専門はブルースト）。お二人のますますのご活躍を祈念いたします。

今号も9本の力作論文を掲載することができました。執筆者の皆様、論文査読委員各位、そして学生編集委員諸君に感謝申し上げます。会員諸兄姉のご寄稿をお待ちいたしております。（山上 浩嗣）

GALLIA LXII

2023年2月28日印刷・3月4日発行

編集発行者 大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 山上 浩 嗣

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : 1953gallia@gmail.com

URL : <http://www.gallia.jp/wordpress/>

表紙デザイン 辻村紀子